

平成31年度

新潟市しろね大凧と歴史の館
事業計画書・収支計画書

平成31年3月31日

平成31年度新潟市しろね大凧と歴史の館指定管理者
株式会社NK S コーポレーション新潟支店

施設運営方針

経営理念

■ 根を張る

地域の一員として、地元可愛される。コミュニケーションの場となり、新たな緑が生まれる。私たちは、新潟の企業として地域に根を下ろし、地元と積極的に関わって参ります。

■ 太い幹となる

誰もが気持ちよく利用できる。人の集いや想いを次代につなげ持続可能な形を模索する。行政の代行者たる自覚を持ち公平・公正・平等な運営を致します。

■ 芽を伸ばす

皆が行きたくなる。新しいコトや独自のアイデアにより利用者の皆様に求められる施設を目指す。設置目的に沿い、民間業者ならではのサービスの向上を図って参ります。

基本方針

■ 設置目的に沿った施設の管理運営

新潟市しろね大凧と歴史の館（以下、「当施設」という。）の設置目的に従い、白根大凧合戦のアップール・白根地区の歴史・文化の紹介・市民文化の向上に努めてまいります。

■ 地元可愛される施設

お客様に安全で快適な環境を提供するとともに、多種多様な要望には適切に対応し管理運営に反映させることで、お客様の満足度の高い施設にします。

■ コミュニケーション

入館者(当施設に入館された全ての方)や観覧者(観覧料をお支払いいただいた方)とのコミュニケーションはもちろんのこと、「白根大凧合戦」や凧に精通した皆さまの意見を大切にします。また、関係団体等と連携を密にし、地域住民やボランティアの知識や経験を生かし、後進を育てます。

■ 誰もが気持ちよく

指定管理者制度を理解し、公の施設における管理運営の責務を果たします。また、施設の円滑な利用調整を行うなど平等利用を確保し、利用者サービスを向上させます。

■ 公平公正平等な運営

関係法令を遵守し施設の管理運営を適切に行います。特に個人情報については、新潟市個人情報保護条例に基づき、その保護を徹底します。

■ 新しい事や独自のアイデア

当施設の立地、特性を理解した上で、観光会社や愛好者とも協力し、また、積極的な広報宣伝によって入館者数を増加させます。

観覧者等の集客推進に向けた計画

① 平成 31 年度 集客目標

目標総入館者数	19,500 人
有料入館者数	9,000 人
無料入館者数	10,500 人
観覧料収入目標	3,015,000 円 (≒9,000×@335 円)

指定管理期間の 5 カ年で、目標を実現すべく、平成 31 年度は、下記の 3 点に努める年とします。

- ✓ 既存事業の精査
- ✓ 施設の目的に沿った、新事業の積極的な開発と実施
- ✓ 新ネットワーク発掘と、新しい視点からの営業活動

集客対策

◆ 旅行会社

南区近郊の温泉地や観光スポットを訪れる旅行客をターゲットとして、旅行会社に直接営業やダイレクトメールを送付し、営業活動を行います。また、直接ホテル・旅館や観光協会にも足を運び営業活動を積極的に行います。

◆ 市内外の小中学校・保育園・幼稚園

南区の校長会や学校に直接、営業活動を行い、イベント事業実施等には全生徒にチラシが行き渡るように配布するなどし、集客に努めます。

◆ 障がい者・高齢者

近隣の障がい者施設や高齢者施設に対し、気軽に来館できることを直接 PR します。

◆ 外国人旅行者

当施設内に多言語標記の案内板を設置し、外国人に対して利用しやすい取り組みを行います。また、英語版のホームページやリーフレットを作成し、広報活動にも力を入れます。

その他の取り組みについて

◆ リピーター

様々な展示事業を展開することによって、以前訪れた方にも新しい発見ができる取り組みをおこないます。

◆ 積極的な広報活動

ア 現在、当施設ではホームページや Facebook による情報発信を行っています。今後も継続して情報発信を行います。

イ 入館者から SNS（ソーシャルネットワークサービス）で情報発信を行ってもらえるよう、大風ホー

ルに撮影用パネルを設置するなど記念撮影ができるポイントをつくります。

ウ 年4回発行している『凧の館通信』を南区役所や白根学習館・白根カルチャーセンター等に配置・配布しています。今後は配置・配布場所を増やすことにより、より多くの方に当施設や「白根大凧合戦」などの凧文化を周知いたします。

エ 特別展示やイベント事業の情報を新聞やテレビ・ラジオを積極的に利用して、周知を図っていきます。

キャラクターコンテストの開催（提案事項）

市民の皆さまに、より身近な施設として知ってもらうために、当施設のキャラクターの募集を行うことを検討します。キャラクターが決定した後は、キャラクターグッズの開発・販売を行い、自主事業として売上の一部を指定管理料に充当し、経費節減につなげます。

市内外のイベントによる相乗効果

新潟市内外の大規模イベントが実施される際に、多くの方々が市内外に訪れることが予想されます。そこで、バス・駅などの交通機関や旅行会社にポスターやチラシを設置・配布し周知を図ります。

- ① （平成31年度）第34回 国民文化祭・にいがた2019
- ② （平成31年度）新潟開港150周年記念事業
- ③ （平成32年度）東京オリンピック・パラリンピック

経費の節減などの効率的な施設の管理運営方針

人員経費の節約

サービス水準を保ちながら、適正な人員配置を行います。

また、イベント時や団体等の対応時には、増員を図り十分なサービスが行われるように対応します。

施設維持管理経費の削減

◆ 無駄のない管理運営

長年当施設に携わってきた経験をもとに、計画的な維持管理を図り、コスト軽減に努めます。

◆ 予防保全

日常・定期点検の徹底により、日々の異常に敏感に対応し大きな修繕を抑えることに努めます。

◆ 事務のシステム化

報告、連絡書類をデジタルデータ管理し、重要書類以外の紙ベースを可能な限り減らします。

◆ 節水

利用人員に応じて、細やかな元弁操作で節水します。

◆ 仕入先・購入先の選択、調達ルートの一元化

備品、消耗品に関しては、品質と価格に信頼出来る株式会社アスパックから一括購入します。

◆ 廃棄物発生量削減への取組

当施設内で発生する廃棄物については、5Rを徹底し、発生量の削減とリサイクルを進めます。

◆ スタッフの節約意識で、省エネルギー

展示物、来館者に配慮した上で、適切な空調コントロールと、節電管理に努めます。

安定的な施設運営を実施する体制

◆ 人員配置

役職	氏名	履歴・取得資格等	担当業務	雇用・勤務
館長	セキネ ショウソウ 関根 省三	白根大風の有識者	総責任者 施設の統括、市・関係団体との連絡・調整 年間業務計画の立案及び履行状況の確認 予約調整、安全管理責任者、防火管理者 施設運営・安全維持管理、施設巡回 利用者への助言、指導、サービス(館内説明等) 苦情対応処理・地域連携	嘱託
館長代理	ヒロセ マサヒロ 廣瀬 正宏	・中学校教諭一種免許取得者 ・高等学校教諭一種免許取得者 ・現新潟市しろね大風と歴史の館職員	館長業務のサポート 施設の統括、市・関係団体との連絡・調整 予約調整、安全管理責任者、防火管理者 施設運営・安全維持管理、施設巡回 利用者への助言、指導、サービス(館内説明等)	正社員
事業担当	マシマ ナツキ 間島 菜月	・学芸員資格所有者 ・文化活動に精通した者	施設運営・安全維持管理、施設巡回 PR活動担当	正社員
事務担当	タカイ ヨウコ 高井 洋子	・現新潟市しろね大風と歴史の館職員	施設運営・安全維持管理、施設巡回 経理事務担当 受付代務	嘱託
受付案内員	タカハシ アヤコ 高橋 綾子 キクチ ケイコ 菊池 恵子	・現新潟市しろね大風と歴史の館受付員	各種サービス(受付・電話対応等) 利用者への助言、指導、サービス(館内説明等)	パート パート

◆ 人材育成方針

当施設を適切に管理し、全スタッフの能力を一定レベルに保つため、下記の項目に沿った研修を実施します。

- ✓ **基礎知識** [1. 引継ぎ前準備、2. 法律基礎知識・コンプライアンス、3. リーダーシップ、4. おもてなし]
- ✓ **安全性・公共性** [5. 危機管理・防犯防災訓練、6. 防災予防講習 (AED 講習含む)、7. メンタルヘルス・マインドアップ、8. 職員ミーティング (OJT)]
- ✓ **専門性** [9. 文化プログラム、10. 文化施設維持管理]

◆ 専門知識を有する人材、及び、地域の人材の活用

長年の経験を有する当館スタッフを始め、各関係者団体との連携を密にとります。そして、学校教育への支援、歴史資料等の展示、風の収集・保管・展示等に努めます。

観覧者等の平等・公平を確保する計画

障がい者や高齢者などへの配慮

◆ 状況の把握と、情報を共有

スタッフ一同情報共有をしっかりと行い、皆さまが平等に安全・安心に観覧できるように心がけます。

◆ 注意深く館内を巡回

原則1時間ごとの巡回を実施します。トラブルや事故の早期発見・対応に努めます。

◆ ユニバーサルデザイン

当施設は展示物が多く、狭まっている所が数カ所あります。安全に観覧できるように展示スペースレイアウトを検討します。

◆ アウトリーチ

当館に足を運べない方々の為に、老人福祉施設や、障がい者施設へのアウトリーチも検討します。

◆ 避難方法の確立

非常時の避難方法を確立します。

関係団体が施設を使用するに当たり平等・公平な取扱い方針

◆ 関係団体との平等・公平な連携

関係団体、観光協会、他市町村の夙関係団体、学校、夙愛好会などと連携をとり、関係規則に従い不平等・不公平なく当館を利用し、互いに発展出来るよう心がけます。

◆ 平等利用の徹底

夙工房、会議室、3Dルーム、特別展示室（休息室）、駐車場、屋外植栽スペースなど、利用希望団体が重複する場合には、利用調整に関する要綱にもとづき、関係各位と十分な相談の上で、特定の団体を優遇するなど不公平にならないように、平等利用を徹底します。

施設の安全管理

観覧者等が、安心・安全に観覧出来るような方策

◆ 情報収集と巡回

「施設点検チェックシート」の活用で、不審者（物）、危険物（箇所）の早期発見に努めます。

◆ 万全な職員研修（AEDを含む）

研修と訓練を積み、緊急時に備えます。

◆ 凧づくり・凧揚げの際の安全

子どもたちによる凧づくり・凧揚げのリクエストが多い施設です。道具や環境の安全管理を日々徹底します。

◆ 緊急時に即応した指示命令系統

別紙参照 【緊急連絡体制図】

◆ 展示品の盗難防止等の警備体制

定期的な巡回を徹底します。また、管理台帳の更新も怠ることなく実施します。

ボランティアスタッフや関係団体との連携

ボランティアスタッフの活用と育成方針

現在、当館に協力頂いている関係団体を中心に「凧ボランティア」「語り部ボランティア」「地域交流ボランティア」を募り、当館の運営支援や、自主事業への協力体制を築いていきます。

◆ 利用団体や関係団体との連携、問合せ・苦情対応

① 地域団体

地域の交流拠点として「いつでも、誰でも、気軽に」利用して頂く為に、各関連団体との連携を密にとり、円滑に施設運営していきます。

② 利用団体

指定管理前任者との引継ぎを円滑に行い、今までの利用団体との良好な関係を築きます。また、新たな団体に関しましても、可能な限り要望に応え良好な関係を築いていきます。

③ 学校

学校教育における歴史学習や総合学習に対し、必要に応じた最大限の貢献が出来るようにします。

④ 新潟市

「新・新潟市総合計画」に則り、担当部局と連携し、1人ひとりが大切にされる施設づくりを進めます。

⑤ 連絡会の開催と問合せ・苦情等への対応

利用団体や関係団体の意見に耳を傾け、現状やニーズの把握とサービス向上に生かします。

企画事業詳細

平成31年度 企画事業実施計画

区分	No.	公演名等	内容	共催の場合共催先	実施日(公演日)
展示	1	白根の凧絵師 荻原正雄展	平成30年にフランスで凧絵描きを行なった凧師の作品展。		4/20～5/6
展示	2	白根大凧合戦写真コンテスト、ミニ六角凧展	白根大凧合戦の開催に合わせて、昨年の写真コンテストの作品とミニ六角凧を展示。		5/25～6/10
展示	3	暮らしの民具展	所蔵品の中から、かつて暮らしの中で使われていた民具を紹介する。		6/29～7/15
展示	4	夏休み 海と山の生きもの凧展	夏休みにちなみ、海と山の生き物をモチーフにした凧を展示。		8/3～8/25
展示	5	白根大凧合戦写真コンテスト作品展	凧合戦協会主催の写真コンテスト2019の入選作品展。	南区産業振興課	9/21～10/6
展示	6	白根絞り展	新潟市無形文化財「白根絞り」の作品展。	サークル白根絞り	11/16～12/1
展示	7	お正月凧展示	2020年の干支「子」にちなんだ凧を展示。		12/14～1/6
展示	8	第22回 ちびっ子凧絵展	南区内の保育園・幼稚園にご協力いただき、園児の描いた凧絵を展示。		①1/19～2/3 ②2/9～2/24 ③2/29～3/17
イベント	9	夏休み親子凧作り教室	夏休みに合わせて、親子で作れる簡単にできる創作凧の教室を開催。		①8/4(日) ②8/18(日)
イベント	10	グルメイベント(凧合戦)	屋台を呼んで、駐車場で飲食物を販売する。		6/8(土)9(日)
イベント	11	開館記念日プレゼント	開館25周年を記念し、入場者先着100名にノベルティグッズを配布。		8/10・11・12
イベント	12	春休み 凧まつり	春休みの子供向け複合イベント		3/21・22
イベント	13	映画上映会	白根大凧合戦が出てくる映画を上映。		検討中
イベント	14	VR体験	白根大凧合戦を仮想現実の世界でお楽しみいただけるイベントを開催いたします。		適時
イベント	15	JA様との共同開催事業	地元 特産の農産物をPRするイベントを開催いたします。		調整中

施設管理及び事業運営経費の収支

指定期間内の収支計画について

◆ 人件費の削減と品質の維持

イベント時や団体の多い日には、事務員のサポートや増員をし、サービス水準を維持します。

◆ 省エネ

来館者数と電気基本料金の増が見込まれますので、十分な節約に努めます。また、自動販売機収入の充当も行います。

◆ 施設管理費の増額

当施設の経年劣化、及び、自主事業の増加にともなう来館者数の伸びをふまえ、清掃や環境衛生管理等の維持管理費を増額します。

◆ 企画事業の実施

利用者や市民のニーズを把握しながら、前記の企画事業に取り組み、夙と白根の文化繁栄と来館者増に貢献していきます。

◆ 自動販売機収入の活用

自動販売機による収入を光熱水費に充て、指定管理料を削減します。